

平成23年度 第2回避難訓練計画

熊谷市立妻沼東中学校

- 1 日 時 ①事前指導 9月7日(水) 14:00～14:30 その後、帰りの会
 ②避難訓練 9月9日(金) 13:40～14:30 その後、教室で反省を記入
 ～帰りの会

2 目的

- 生徒 ○緊急地震速報に対応した避難方法を学習し、実践することができる。
 ○避難経路がわかり、安全かつ迅速に避難できる。
 ○しっかりと放送を聞き、教師の指示に従うことができる。

- 教師 ○緊急地震速報に対応した適切な避難指示と、生徒の安全確認・人員点呼ができる。

3 事前指導の内容 9月7日(水) 14:00～14:30

教師(指導者)の行動	生徒の行動
1 会場準備 13:25～ 清掃・昼休み (丹羽・小林) マイク2、机2、椅子3、暗幕、スクリーン パソコン、プロジェクター ※指導者到着、校長室へ 熊谷地方気象台 ・防災業務係長 永田 俊光 様 ・水害対策気象官 菊池 道行 様	事前に本日の日程を確認しておく
2 生徒集合時の指導 13:45～ (全体指揮 丹羽) ※朝会隊形に静かに整列させる。	2 清掃終了後、体育館に移動する (持ち物は、なし 体育着) ※学級委員は朝会隊形に整列させる。 (名簿順2列)
3 事前指導 14:00～14:30 (司会、号令 丹羽) ①指導者入場(拍手) ②校長先生のお話(指導者紹介) ③指導 熊谷地方気象台防災業務係長 永田俊光 様 ④「その時、あなたはどうする！」視聴10分 ⑤指導者退場(拍手) ※指導者の話やDVDの視聴をしっかりと聞き 取らせる。	3 事前指導 14:00～14:30 ア 静かに取り組む。 イ 緊急地震速報について学習する。 ウ 指導者に対して感謝の気持ちを持ち、拍手 をおくる。
4 生徒を退場させ「帰りの会」 ※担任より事後指導 ア 態度は良かったか イ 緊急地震速報について理解できたか ウ 9日の避難訓練に向けて、心構えができたか エ クラスの避難経路を再確認させる	4 退場して「帰りの会」 ※担任の先生から事後指導を受ける ア 態度は良かったか イ 緊急地震速報について理解できたか ウ 9日の避難訓練に向けて、心構えができたか エ クラスの避難経路を確認する

4 避難訓練の内容 9月9日(金) 13:40~14:30

教師(指導者)の行動	生徒の行動						
<p>13:10 指導者到着(図書室) 校長、教頭</p> <p>13:15 指導者打合せ、その後教室を巡回 接待(山口)</p> <p>※整美委員に、昼休みに雑巾の準備をさせる ※13:40 担任は教室で生徒を着席させる</p> <p>1 【緊急地震速報】 13:45 CD30秒(教務) 「チャラン、チャラン 地震です、落ち着いて身を守ってください」その後揺れる音 ※生徒が、自分で速報に反応して机の下に潜るのを見届ける。ただし、反応しない生徒を指導して、潜らせる。</p> <p>教師は避難経路確保(ドアを開ける)した後、机の下にいっしょに潜る</p> <p>2 【避難開始】 30秒後、緊急放送(教務) 「全校生徒は先生の指示に従い、校庭に避難しなさい！」(2階繰り返す) ※担任及びその他の教師の動き ○担任 ア 緊急地震速報に対して、静かに落ち着かせて聞かせる。 イ 最後には、全員を机の下に潜らせる。 ※担任は出入り口のドアを開けておく。 ウ 緊急放送(避難指示)の内容をよく聞き取らせ、速やかに避難させる。 エ 出席簿を携行し、教室やトイレに残留者がいないことを確認しながら最後尾の生徒とともに避難する。</p> <p>オ 学級委員に整列させ、担任が人員点呼する。 カ 学年主任に報告する (担任→学年主任→教頭→校長)</p> <p>○担任外 ア 学年の避難経路に立ち、静かに速やかに避難させる。 イ 避難の際、援助を要する生徒に付き添う。</p> <p>○養護教諭 保健室に生徒が居ないかを確認してから避難する。</p> <p>○学年主任…担任からの報告をまとめ、教頭に報告する。また、生徒の避難状況を評価する。</p>	<p>1 【緊急地震速報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて速報を聞き、自ら危険回避姿勢(机の下に潜る)をとる。 ・静かに、次の指示を待つ(勝手に動き出さない)。 <p>2 【避難開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放送内容をしっかり聞く。 ・先生の指示に従い、速やかに避難する。 <p>※ 避難場所に整列する</p> <p>ア 上履きのまま避難する イ 校舎内は小走りで移動する。 ウ 校舎を出たら全力で走る。 エ 無言で避難場所に整列する。 オ 学級委員は全校朝会の隊形(名簿順2列)に整列させ、座らせる。</p> <p>お：おさない か：かけない し：しゃべらない も：もどらない</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">第1 避難場所 (校庭南西部・砂場)</p> <table style="margin: auto; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">1年</td> <td style="text-align: center;">3年</td> <td style="text-align: center;">2年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3組…1組</td> <td style="text-align: center;">3組…1組</td> <td style="text-align: center;">4組…1組</td> </tr> </table> </div> <p style="text-align: center;">第2 避難場所 (雨天時・体育館)</p>	1年	3年	2年	3組…1組	3組…1組	4組…1組
1年	3年	2年					
3組…1組	3組…1組	4組…1組					

- 教頭・・・学年主任からの報告をまとめ、校長に伝える。避難時間を計る。
- 教務・・・避難開始から避難完了までの様子を記録する。
- 校長・・・避難の様子を観察し、講評を行う。

【全体指導】 司会、号令（丹羽）

- ①始めの言葉（司会）
 - ②避難時間の報告（教頭）
 - ③感想発表（生徒会長）
 - ④指導・講評
 - ・熊谷气象台次長（渡部 信行 様）
 - ・妻沼消防署（ ）
 - ・妻沼東中学校長（原口校長）
 - ⑤連絡（整美委員担当）
 - ⑥終わりの言葉（司会）
- ※ 整美委員を先行させる

終了後、指導者は閉会行事（図書室）

校長、教頭 接待（山口）

4【事後指導】

- 担任
 - ア 教室で事後指導を行う。
 - （真剣に取り組めたか）
 - （指導者の話はしっかり聞けたか）
 - （避難訓練の大切さを理解できたか）
 - イ 反省を書かせる。
- 担任外は、教室・廊下の巡回指導

3【全体指導】

- ア 静かに話を聞く。
- イ 指導内容を理解する。
- ウ 真剣に考える。
- エ 指導者に対して、感謝の気持ちを持つ。

※整美委員は指示に従い、先行して雑巾の準備

※靴の汚れを落としてから教室へ移動し、静かに着席

4【事後指導】

- ※担任の先生から事後指導を受ける
 - ア 真剣に取り組めたか
 - イ 指導者の話はしっかり聞けたか
 - ウ 避難訓練の大切さを理解できたか
 - エ 反省を書く



第2回避難訓練・生徒引渡し訓練実施計画

熊谷市立奈良中学校

1 ねらい

東日本大震災の事実を真摯に受け止めながら、

- (1) 生徒及び教師の防災意識の向上を図るとともに、災害発生時の基本的行動様式を理解する。
- (2) 震度6弱以上の地震が発生した場合、生徒を保護者に円滑に引き渡すことができるようにする。
- (3) 緊急地震速報を聞いた際、あわてずに自らの身を守り安全に避難できる方法を身につける。

2 訓練設定状況

深谷断層を震源とした震度6弱の大地震が発生。校舎内のいたる所で壁や窓ガラスの破損、天井が崩れおちた箇所があり、校舎外避難の必要な状況にある。

また、3階理科室から火災が発生し、初期消火が必要な状況にある。

<震度6弱の目安> ◎立っていることが困難になる。
□屋内の状況:固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。
□屋外の状況:かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
□木造建物 :耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。

3 日 時

平成23年7月19日(火)

午後3時00分より

4 当日の日程

50分通常授業(1, 2, 3, 4, 給、清掃、5、6)

保護者受付

午後3時00分から

気象庁熊谷气象台による保護者対象の講義

午後3時10分～午後3時40分

保護者校庭へ移動

午後3時45分～午後3時50分

避難訓練

午後3時55分～午後4時30分

引渡し訓練

午後4時45分～

5 避難訓練

(1) 事前指導

ア 7月4日(月)特設6限 於:体育館

気象庁熊谷气象台による生徒対象の事前学習

A. 地震発生時に予想される危険について

B. 対処の仕方

C. DVD「その時、あなたはどうする! 緊急地震速報」の視聴

イ 学級での指導

- ・安全対策(避難動作)の確認
- ・ドアや窓をあける(避難口確保)
- ・どの避難経路を使うか、どこに集まるかの確認
- ・頭を保護する

(2) 展 開

本 部	教 師	生 徒	保 護 者
<p>1 緊急地震速報 緊急地震速報と地震発生の効果音を放送。</p>	<p>1 学習活動をやめさせ、机の下に避難するよう指示する。 ○ドアを開け通路の確保 ○机の下に避難</p>	<p><u>1 緊急地震速報を聞いたら、自らの判断で待避行動をとる。</u> ○机の脚をつかみ、揺れがおさまるのを待つ。 ○かばん等で頭部を保護する。</p>	<p>校庭で避難訓練の様子を参観する。</p>
<p>2 初期避難 「訓練 訓練 訓練 ただ今地震が発生しました。現在、校舎内の安全確認をしています。安全点検が終わるまで、引き続き机の下に避難しなさい。」 (校内緊急放送) 電源可</p>	<p>2 生徒たちの動揺を静める。 ○出入口の確保 ○火の元確認 ○教室内の安全点検 ○避難経路の確認</p>	<p>2 放送を正しく聞き、静かに教師の指示を静かに待つ。 ○机の脚をつかみ、揺れがおさまるのを待つ。 ○かばん等で頭部を保護する。</p>	
<p>3 避難 「避難経路の安全が確認できました。先生の指示に従って、<u>安全確保のため帽子をかぶり、校庭に避難しなさい。</u>」</p>	<p>3 生徒を、指示(合図)に従い、校舎外に避難させる。 「静かに早く廊下に並びなさい」(体育時の集団行動と同じ) ○出席簿を持つ ○異常箇所[※]に注意させながら避難させる。 ※各階の責任者は、避難しながら残留生徒の有無を確かめ、移動する。</p>	<p>3 廊下に並び、避難場所に避難する。 ○体育委員を先頭に、黙って素早く整列。 ○サブバッグ等で頭部を保護する。</p>	
<p>4 避難状況の報告を受け、生徒の安否の確認をする。</p>	<p>4 整列させ人数確認 ○報告 担任→学年主任→教頭→校長</p>	<p>4 人員の点呼を受ける。 ○腰を下ろして静かに指示を待つ。</p>	
<p>5 火災 「理科室で火災が発生しています。消火班は消火活動にあたって下さい。」 ○携帯電話にて119番通報(教頭)</p>	<p>5 消火班担当は理科室へ向かい、初期消火にあたる(職員のみ) ○消火活動、鎮火報告</p>	<p>5 静かに待つ。</p>	

6 指導講評 ・気象台より ・消防署より ・校長より	6 生徒観察	6 静かに話を聞く。	保護者スペースにて静かに話を聞く。
7 埼玉県起震車による体験および指導	7 生徒への指導・観察	7 体験者係員の誘導で起震車へ	
8 上履きの底をきれいにして、教室へ荷物を取りに行く。	8 静かに移動できるように指示および誘導	8 静かに移動し、荷物を引き取りに教室へ	
9 引渡し訓練開始	9 「奈良中学校緊急連絡用(引渡し)カード」に基づきながら、保護者に生徒を引き渡す。	9 誰が引取り者であるか言えるようにしておく。	生徒を引取り、気をつけて下校する。
10 保護者の迎えのない生徒を学校で待機させる。	10 生徒対応 ○家庭と連絡をとる	10 体育館待機	

(1) 事後指導（避難訓練の評価）

- 本気になり、静かに指示が聞けたか。
- ふざけず、あわてず、助け合って、安全に避難できたか。
- 課題点を明らかにする。

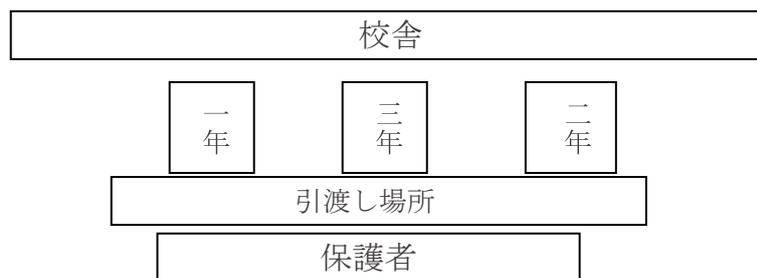
(2) 各階責任者

本校舎3階（栞原） 本校舎2階（2，3年担任） 本校舎1階（1年、ならの木担任） 特別棟1階（篠田） 特別棟2階（饗庭） 保健室（小林早） 体育館（笠原） 事務室（塚越）

6 係分担

- ・本部・・・校長、教頭
- ・避難放送・・・教頭
- ・全体観察・・・栞原
- ・計時・・・饗庭
- ・救護・・・小林
- ・災害時引き取り人名簿持ち出し・・・夏目
- ・放送準備・・・此島
- ・司会・・・梨木

7 避難場所



平成23年度 第1回防災訓練実施要項

熊谷市立江南中学校

1. 目的

- (1) 震災等の災害からの適切な避難方法を身につけ、「時・場・礼」をわきまえた心豊かな生徒を育成する。
- (2) 非常の震災や火災に対し、生徒の生命・身体の安全を確保し、迅速かつ整然と避難させるとともに自己の担当や避難経路を確認する。
- (3) 緊急地震速報発令の校内放送を聞いて、身を守る安全な行動がとれるようにする。

2. 日時

平成23年7月7日(木) 14時55分～15時45分

時間	内容	
15時00分～	全校事前指導 体育館	司会 齊藤 DVD視聴 根岸 教諭 地震について 気象庁
15時25分～	学級指導 アンケート	学校生活・登下校時の避難等について 各担任

平成23年7月13日(水) 10時40分～12時20分

時間(予定)	担任外教員の動き	担当	教科担任の動き	生徒の動き
10時40分 ～10時45分	○緊急放送準備 ○タイムキーパー			
～10時50分 「避難訓練」	○地震発生放送 (緊急地震速報) ・緊急地震速報と地震発生の効果音を放送 『訓練・訓練 地震が発生しました。そのまま机の下に避難しなさい。』 「揺れが収まりました。今、避難経路の安全を確認しています。ヘルメット等準備をし避難できる態勢で教室で静かに待機し次の指示を待って下さい。」 ○揺れが落ち着いたからすぐに施設点検・報告	根岸 教頭	○生徒への指示(教科担任) ・ドアを開け、通路の確保 ・机の下に避難 ○給湯室確認 岩本 ○生徒への指示 ・電気等の電源をきる ・外側の窓を閉める 職員室待機(授業なし) 校長・教頭・主幹・事務主任 中島養護・岩本業務・ 根岸生指・山岸安主・ 大嶋1年主・山崎2年主・ 西木3年主・ 柳1の3担・猪野1の2担 高橋2年・寺田3の1担 (揺れが落ち着いた時点) 校長→決断 教頭→放送指示 主幹→教職員指示 3階安全確認 山崎・根岸 (根岸報告)(山崎指示誘導) 2階安全確認 西木・寺田 (寺田報告)(西木指示誘導) 1階安全確認 柳(津ヶ谷)・猪野 (猪野報告)(指示誘導大嶋) 体育館・外避難経路 山岸・高橋(高橋報告)	○待避行動 ・緊急地震速報を聞いたから自らの判断で待避行動(机の下などにもぐる)をとる。 ○安全確保 ・退避状態のまま次の指示を静かに待つ。 ○避難準備 ・ヘルメット、教科書等で頭を保護する。 ・外側の窓を閉める ・上履きのまま ※2時間目休みに各クラスの美化委員は昇降口に濡れ雑巾を10枚程度用意する

	<p>○『校舎西非常階段が使えません。速やかに先生の指示に従い避難しなさい。』 ※繰り返す ○避難誘導</p> <p>別紙</p> <p>※各学年主任は、学年の最後尾から安全確認を行う 担任と入れ替わる場合は替わる</p> <p>昇降口避難経路誘導 山岸 3年駐輪場付近避難誘導 高橋 3階最終点検 根岸 2階最終点検 寺田 1階最終点検津ヶ谷 職員室・事務室・ 校長室 確認 齊藤・新井</p>	<p>教頭</p> <p>大嶋 山崎 西木</p>	<p>救護準備と応急処置 中島 報告受信職員室前（齊藤） 齊藤状況報告→校長・教頭 校長→決断 教頭避難放送指示</p> <p>○避難指示 ・指示に従い校舎外に避難させる。 ・教科担当は、西非常階段以外から安全に留意して避難誘導する。 ○指示誘導責任者 3階山崎2年学年主任 2階西木3年学年主任 1階大嶋学年主任 1-1 理 大澤 理科室 1-2 英 清野 英語室 1-3 社 津ヶ谷 教室 2-1 学 中村 教室 2-2 学 林 教室 2-3 学 岩附 教室 3-1 国 白石 教室 3-2 社 小久保 教室 3-3 音 三友 第2音 特支総 板倉高田岡田竹田 教室</p> <p>○生徒への指示 桜の木に向かって 全校朝会の隊形で整列させる</p> <p>※到着後、人員確認を行う 学年で最初に到着したクラスの担任が、学年の集約を行い、学年主任に報告</p>	<p>○避難開始 ・ヘルメット、教科書等で頭を保護し避難する。 ・校庭の東側にある桜の木の前（ソフト部の方）まで お・・・押さない か・・・駆けない し・・・しゃべらない も・・・戻らない（持たない） ち・・・近づかない</p> <p>○整列 桜の木に向かって 全校朝会の隊形で整列</p>
<p>11時00分～</p>	<p>○整列指示 ・人員確認と報告 各学級→学年主任 →教頭→校長</p>	<p>寺田</p>	<p>○各クラス人員確認後 各学年主任に報告 各学年確認後、教頭に報告</p>	<p>○各クラス男女の学級委員は 人員確認後 担任に報告</p>

<p>11時10分～</p> <p>11時40分～ 12時20分</p>	<p>○全体指導 司会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告 教頭 ・気象庁熊谷气象台 ・熊谷消防本部江南分署 ・校長指導講評 ・諸連絡 <p>事後指導 (教室)</p>	<p>山岸</p>	<p>○号令寺田</p>	<p>○指導講評を静かに聞く。</p> <p>○解散後、昇降口で上履きをよく拭き、各教室に戻る</p> <p>○美化委員と安全委員は雑巾の片付け</p> <p>○アンケート</p>
<p>※上記の担当欄に名前のない先生は直接避難場所へ移動してください。</p> <p>※雨天時は、体育館に避難</p>				

震災4ヶ月後の一週間を防災週間とし、ヘルメットを教室へ持って行く。



1 目的

- (1) 緊急地震速報発令の校内放送を聞いて、身を守る安全な行動がとれる生徒の育成。
- (2) 地震や火災に対し、避難方法・避難経路など基本的行動を確認すると共に、緊急時における心構えと対処の仕方など、実践力を養う。
- (3) 避難中に負傷者が出たことを想定し、本部への連絡、応急処置および看護、負傷者の避難を実践する。

2 日時

平成23年8月19日(金) 9時10分～ 9時50分

時間	内容	
9:10	全校事前指導 (体育館)	司会 大島 号令 竹内 視聴覚準備・操作 柴崎 校長 ・あいさつ、講師紹介 ・事前学習「地震について」 気象庁熊谷地方气象台 永田俊光さん ・講話「地震がもたらす影響や地震に対する心構え」 熊谷市教育委員会 清水 修指導主事 ・謝辞 校長
10:00	学級指導 感想文の記入	・緊急地震速報を聞いて行動することの大切さについて 各担任 ・感想文の記入

平成23年9月1日(木) 13時15分～14時15分

時間(予定)	全体の流れ	担当	教師の動き	生徒の動き
12:55	○放送機材の準備 ・ハンドマイク ・体育祭用マイク ・延長コード ・タイマー	岡田 竹内 岩本	○放送機材の準備 ・安全委員と共に放送機材を準備する ○雑巾の準備 ・美化委員と共にぬれ雑巾を昇降口に準備する	○放送機材の準備 ・安全委員 ○雑巾の準備 ・美化委員
13:15	○緊急放送準備 ○タイムキーパー用意	柴崎 竹内	○放送室で放送する ○タイマーのスイッチを押す	
13:30	○地震発生放送 (緊急地震速報) ・緊急地震速報と地震発生の効果音を放送 「訓練・訓練。 ただ今、関東地方に大きな地震が発生しました。揺れが収まりましたが、避難経路の確認をしています。 教室で静かに待機し、次の指示を待ちなさい。」	柴崎 教頭	○生徒への指示 ・ドアや窓を開け、通路の確保 ・電気等の電源を切る ・机の下に避難 ・机を両手で持つ ○給湯室確認 (長谷川) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <職員室待機> 授業なし 校長・教頭・主幹 事務主・養護・業務 田中・坂本・竹内・飯田 柴崎・石川・塚本・町屋 島田・中野・ジェームス </div> <揺れが落ち着いた時点で> 校長...決断 教頭...教職員指示、放送 主幹(大島)...重要書類関係	○待避行動 ・緊急地震速報を聞いたなら自らの判断で待避行動(机の下等にもぐる)をとる。 ○安全確保 ・待避状態のまま次の指示を静かに待つ。

○揺れが落ち着いたら
すぐに施設点検・報告

「訓練・訓練。
先生の指示に従い、
速やかに校庭に避難
しなさい。」
*繰り返す

○避難誘導

教頭

- ①特別棟安全確認（田中）
- ②新館安全確認（飯田）
- ③本館安全確認（塚本）

* 5組側の教科担任から順に、安全状況の伝達。1組側の教科担任が階段付近に出向いた①～③に報告。本館と特別棟は上階からも報告。①～③は避難経路の安全も確認し、教頭に報告。

< 報告内容 >

- ・生徒の状況
- ・教室内や廊下等の破損状況 等

報告受信 職員室前...教頭
状況報告...教頭→校長
校長...決断、本部旗用意
教頭...避難放送、
用具室等の鍵管理
救護準備と応急処置...新井ま
長谷川...事務室、職員室等の
管理
松尾...AEDを本部へ

○避難指示

- ・教科担当は、出席簿を持参し、指示を出す。
- ・安全に留意させ、校舎外に避難させる。

< 指示誘導責任者 >

- 1-1 (国語) 高柳
- 1-2 (英語) 岩本
- 1-3 (体育) 国友
- 1-4 (数学) 橋本
- 1-5 (理科) 中川
- 2-1 (英語) 利根
- 2-2 (国語) 松浦
- 2-3 (保健) 根本
- 2-4 (理科) 岡田
- 2-5 (数学) 遠藤
- 3-1 (社会) 湯澤
- 3-2 (音楽) 川上
- 3-3 (体育) 金澤
- 3-4 (英語) 長島
- 3-5 (国語) 井出
- 7・8組 (生活单元)
鳥海・久保田

*本部 (バスケットコート前)
校長 教頭 大島 養護教諭

○避難準備

- ・教科書等、頭を保護できるものを用意する。
- ・上履きのまま避難の準備をする。

○避難開始

- ・教科書等で頭を保護し、避難する。
- ・校庭の部室前に避難する。

< 避難の仕方 >

- ①学級委員
- ②男女各1列名前の順
- ③体育委員
- ④教科担任

お...押さない
か...駆けない
し...しゃべらない
も...もどらない

13:35	○整列・人員確認 ・各教科担任→学年主任→教頭→校長	教科担任	＊誘導 ①3年昇降口(中).....町屋 ②3年昇降口(外).....島田 ③1.2年昇降口(中)...石川 中野 ④1.2年昇降口(外)...坂本 ⑤本館階段.....塚本 ⑥新館階段.....飯田 田中 ⑦体育館(外).....ジェームス ⑧校庭(内外連絡).....柴崎 竹内 ＊救護係 養護教諭.....竹内 柴崎 ＊全体指揮 全体.....金澤 根本 国友	○整列 ・校庭部室前に、バスケットコートに向かって、男女各1列名前の順で整列する。 <整列の仕方> ①教科担任 ②安全委員(時間の確認) ③学級委員(点呼→報告) ④男女各1列名前の順 ⑤体育委員				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="288 1189 587 1572">○負傷者の救助</td> <td data-bbox="587 1189 667 1572">教科担任 養護 柴崎 竹内</td> <td data-bbox="667 1189 1094 1572"> ○教科担任が負傷者の確認をし、協力を求める指示を出す。 ・体育委員に本部にいる養護教諭を呼びに行かせる。 ・近くにいる教諭に協力を求める。 ・養護教諭は救護係に指示を出す。 ・救護係はタンカーを持って救助に向かう。 </td> <td data-bbox="1094 1189 1455 1572"> ○最後尾の体育委員は、本部にいる養護教諭に負傷者の状況を話し、現場に誘導する。 ○最後尾の体育委員は、学年の先生と学級委員に事情を話し、教科担任の代わりにしてもらおう。 </td> </tr> </table>					○負傷者の救助	教科担任 養護 柴崎 竹内	○教科担任が負傷者の確認をし、協力を求める指示を出す。 ・体育委員に本部にいる養護教諭を呼びに行かせる。 ・近くにいる教諭に協力を求める。 ・養護教諭は救護係に指示を出す。 ・救護係はタンカーを持って救助に向かう。	○最後尾の体育委員は、本部にいる養護教諭に負傷者の状況を話し、現場に誘導する。 ○最後尾の体育委員は、学年の先生と学級委員に事情を話し、教科担任の代わりにしてもらおう。
○負傷者の救助	教科担任 養護 柴崎 竹内	○教科担任が負傷者の確認をし、協力を求める指示を出す。 ・体育委員に本部にいる養護教諭を呼びに行かせる。 ・近くにいる教諭に協力を求める。 ・養護教諭は救護係に指示を出す。 ・救護係はタンカーを持って救助に向かう。	○最後尾の体育委員は、本部にいる養護教諭に負傷者の状況を話し、現場に誘導する。 ○最後尾の体育委員は、学年の先生と学級委員に事情を話し、教科担任の代わりにしてもらおう。					
13:45	○全体指導 司会 号令 集計 ・集合時間の発表 ・気象庁熊谷气象台 ・熊谷消防本部玉井分署 ・校長指導講評 ・諸連絡	大畠 金澤 根本 両角	○安全委員会と集合時間の集計をする。	○安全委員長、安全副委員長は集合時間の集計をし、委員長が発表する。 ○指導講評を静かに聞く ○解散後昇降口で上履きをよく拭き、各教室に戻る。				
14:15	○事後指導(教室)	担任	○避難の様子を振り返らせる。 ○自己評価表を記入させる。	○美化委員は雑巾の片付けをする。 ○自己評価表を記入する。				